

# 令和4年度(2022年度)

## 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書

### 本校の学校教育目標

すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

#### ◎ めざす子どもの姿

積極的に人とつながり合う子

人の意見を素直に聞ける子

自分も他の人も大切にする子

やってみようと行動することができる子

#### ◎ 重点目標

○自分も他の人も大切にし、積極的に人とつながり合う児童の育成

○自ら考え、失敗を恐れずに挑戦できる児童の育成

#### ◎ 教育目標、重点目標達成のための具体的な取組

①・「書く力（どのように書くか）」をテーマに、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり

・自分の身を自分で守ろうとする、体を大切にする、元気でたくましい児童の育成

(学力向上) (健康・体力)

②自分も他の人も大切にし、積極的に人とつながり合おうとする児童の育成

(豊かな人間性)

③保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携

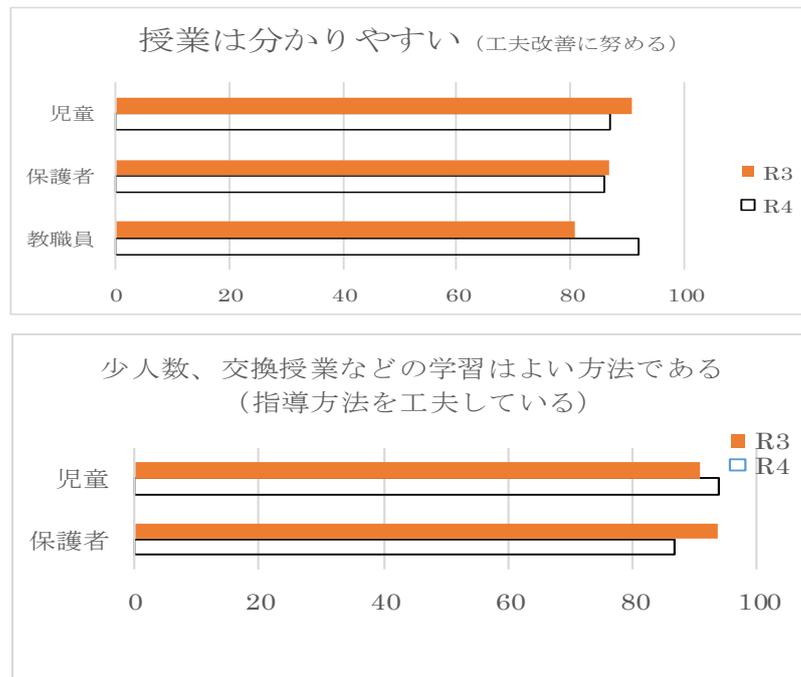
(安心・安全) (開かれた学校づくり)

令和4年度(2022年度) 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書(その1)

<p>① 設定目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書く力(どのように書くか)」をテーマに、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり</li> <li>・自分の身を自分で守ろうとする、体を大切にする、元気でたくましい児童の育成 (学力向上) (健康・体力)</li> </ul>
<p>② 本年度の 取り組み 状況</p>	<p>(学力向上)</p> <p>①授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研、研究協議会。授業公開。授業評価等の研修。国語、算数を中心に研究を進める</li> <li>・講師招へい研修(国語科、道徳科)</li> </ul> <p>②指導形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数等での<u>少人数指導、T.Tによる指導</u>、3～6年外国語でALT等に加えて担任等が指導、複数学級学年での交換授業、合同授業 <u>・タブレットを活用した授業づくり</u></li> </ul> <p>③光小スタンダードによる学習規律の確立 <u>・「主体的・対話的で深い学び」の授業</u></p> <p>④<u>一斉朝読書を中心とした読書推進、家読(うちどく)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書、図書委員会による本の紹介、高学年による低学年へ本の読み聞かせ</li> <li>・学級文庫の設置、司書やサポーターによるブックトーク、保護者対象の読書啓発</li> <li>・教科横断的な図書館活動の充実</li> </ul> <p>⑤学力調査等の結果分析と指導改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査(4月19日)・府すくすくウォッチ(4月19日)・校内学力実態調査(全学年每学期実施)・とよのチャレンジ実施(12月6日)・力試しテスト(2月) <u>・授業アンケート</u></li> </ul> <p>⑥放課後(わくわく教室)事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回(月・木)コロナ禍の中で、中止の時期もあり</li> </ul> <p>⑦今年度の外国語活動・授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2年は年間10時間程度、3～4年は年間35時間、5～6年は年間70時間程度の外国語活動・外国語(英語)の授業</li> </ul> <p>(健康・体力)</p> <p>①運動会、水泳指導などの学校行事、授業を通じた体力づくり、体力テスト2回実施</p> <p>②児童会行事、委員会活動等遊びによる体づくり活動</p> <p>③食育の推進(栄養教諭による食育指導 保健給食委員会の活動推進)</p> <p>④保健指導の推進(給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進)</p> <p>⑤ひかり幼稚園との運動づくり・体育の連携 体育支援員の配置(コスモスポーツ)</p>

【学校教育自己診断の結果および全国学力・学習状況調査の結果】

○授業研究、指導形態の工夫



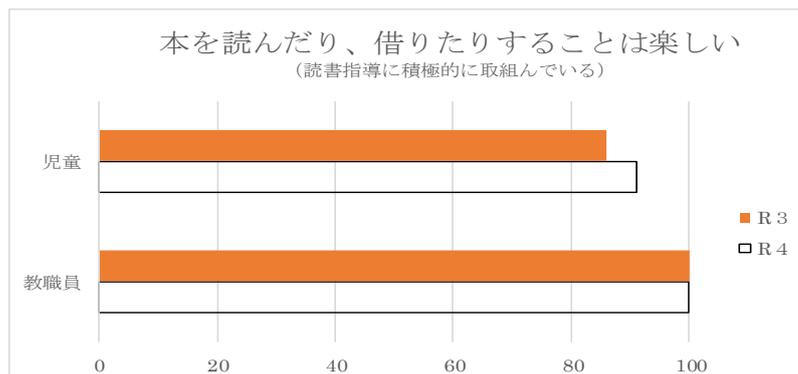
(※グラフは学校教育自己診断において、肯定的意見をまとめた数字です。以後、同様。)

アンケート結果から、児童、保護者、教職員ともに「授業はわかりやすい(児童、保護者)」「授業の工夫改善に努めている(教職員)」の肯定的な回答が教職員以外、昨年度とほぼ同様の評価となった。教職員の授業研修や校内研究会を通して、授業の工夫改善が進んできた実感が高まってきているが、児童や保護者にまではその工夫改善が伝わっていない。また、「少人数指導や交換授業」について児童は、昨年度に比べて高い評価となった。一人ひとりにきめ細かい指導を行っている一定の成果ではないかと捉えている。その取り組みが保護者にも伝わるよう、授業参観等も含めて情報発信していきたい。

今年度は「書く力」の向上をテーマに、「何を書くか」から「どのように書くか」について校内研究を行い、教職員がそれぞれの指導の良さや課題を共有し、日々の授業に生かすことができた。また、今年度も大学講師を招聘し、国語科(物語文)の授業や道徳科の授業について具体的な授業の工夫改善を学んだ。今後は、上記の取り組みに合わせて、タブレットを活用した授業づくりについても研究を進めていきたい。



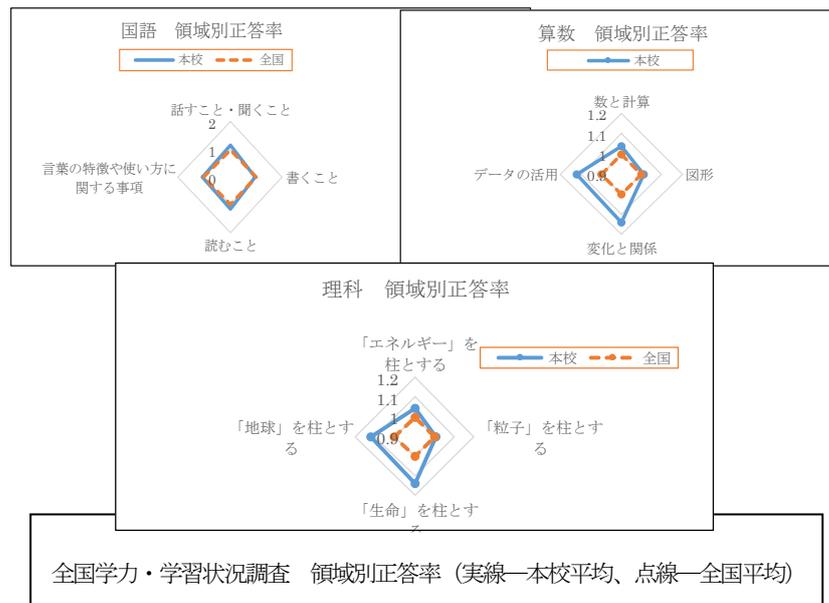
○一斉朝読書を中心とした読書推進、家読(うちどく)



児童および教職員のアンケート結果から、教職員は組織的に読書指導推進を進めていると感じ、児童も読書活動について「楽しい」と感じている割合が昨年度より増加している。今年度は司書教諭ならびに図書館司書が連携し、学級文庫の内容やおすすめの本紹介等も含めて本に親しめる活動を推進。図書委員会の活動が活発で、読書活動の推進に大きな力となった。今後もすべての児童がさらに本を「読みたい」「借りたい」と思うような手立てを考えて取組んでいきたい。

○学力調査等の結果分析と指導改善

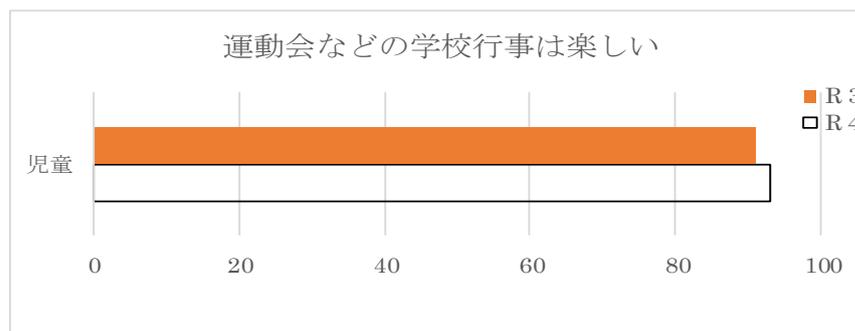
- ・全国学力・学習状況調査（4月19日）・府すくすくウォッチ（4月19日）・校内学力実態調査（全学年毎学期実施）・とよのチャレンジ実施（12月6日）・力試しテスト（2月）。
- ・授業アンケート。



昨年度は6年生対象の「全国学力・学習状況調査」、5・6年生対象の「大阪府すくすくウォッチ」、2～6年生対象の「とよのチャレンジ」を同日に行ったが、今年度は「全国学力・学習状況調査」「大阪府すくすくウォッチ」を同日、「とよのチャレンジ(町独自の調査)」は1～6年対象に別日で行った。全国学力・学習状況調査の結果は、国語・算数・理科ともに全国平均を上回った。課題は国語の「書くこと」の領域。その他のテストも学年によって多少の差はあるものの各教科の基礎基本の定着は見られた。各児童の結果は、それぞれ2学期の始めや2月頃に返却した。年度末までに児童の結果を踏まえて、児童の理解がなかなか進んでいない学習について繰り返し指導を行っていく。

(健康・体力)

○運動会等の実施(3年ぶりに全校で午前中実施)

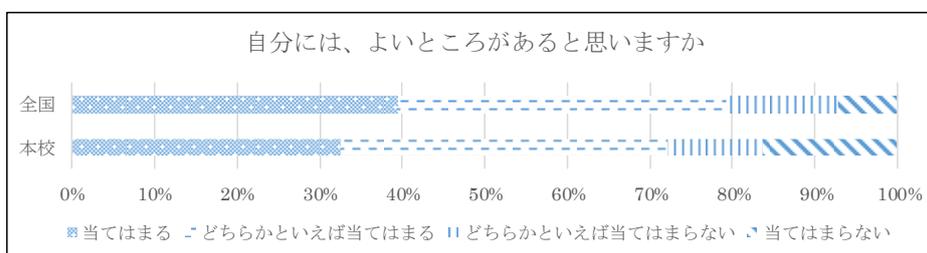
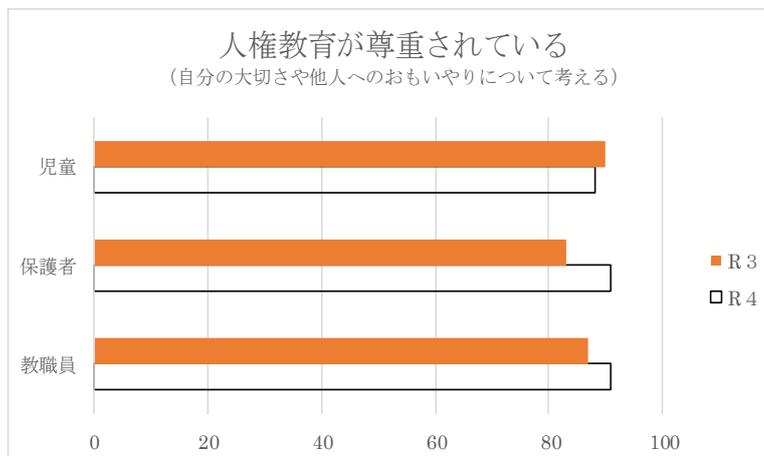


	<p>アンケート結果から、3年ぶりの全校による運動会を行なったことについて児童の評価が昨年以上に高かった。コロナ禍の中ではあったが、できる範囲でできることを教職員やPTA役員とも相談。サポートボランティアのお力もお借りして開催することができた。今後も今回の開催方法を基本に、内容をさらに充実したものになるよう、児童の主体性をさらに引き出しながら取組んでいきたい。</p> <p>○ひかり幼稚園との運動づくり・体育の連携、体育支援員（コスモスポーツ）の配置 豊能町の保・幼・小・中一貫教育を見据えて、昨年度より隣接する「ひかり幼稚園」の運動づくりと小学校低学年の体育との連携の取組みを進めている。今年度は、昨年度から相談してきた取組みを体育支援員（町派遣）に支援いただきながら、年間3回「1年生と年長さんの合同授業」実践を行った。「楽しかった」「またやりたい」等の児童の声が聞かれた。その他、体育支援員には、町内の教職員向け研修を3回、ひかり幼稚園の親子体づくり研修にも講師として参加。幼稚園・小学校の体力づくりについて充実した連携を行うことができた。</p> <p>○児童会行事、委員会活動等遊びによる体づくり活動 ・ドッジビー・玉入れ（児童会行事—1月20日）、体力テスト2回（1学期・3学期）3学期の児童会行事として企画。きょうだい学年（1・6年、2・4年、3・5年のペア）でドッジビー・玉入れを行った。異学年交流を通して体づくり活動ができた。また、休憩時間には、鉄棒やその他の遊具、3学期はなわとび、ランニングを中心に子どもたちが積極的に体づくりのための活動を行うことができた。</p> <p>○保健指導の推進（給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進） 新型コロナウイルス感染症防止の取組みを第一に行いながら、保健指導や授業の充実を行った。また、保健日より（HPにもアップ）を中心に保護者への情報発信についても積極的に行うことができた。</p>
<p>④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）</p>	<p>○：概ねどの取組みも効果的だったのではないかと考える。 ○：体育支援員に入っていたらいいの体育の取組みはとてもよい。 ○：読書活動は進んできている。高学年が低学年に読み聞かせや朝読書、選書紹介等の取組みが成果をあげているのではないかと。読み聞かせボランティアなども復活させていきたい。 ●：算数や理科がある程度できているということは、物事を論理的に考えられているということ。このことを「書くこと」にどうつなげていくかがポイントではないかと。 ●：書くことについて、書き方のモデルをもっと子どもたちに示しながら、ポイントをしっかり押さえて書く練習が必要なのではないでしょうか。また、問題文を根気強く繰り返し読んで「読みこむ」ことも大切ではないかと。 ●：「授業がわかりやすいか」と質問に対して、保護者は年に3回の授業参加はあるが、児童を通してしか判断できないのではないかと。普段の授業を観るの方法を考えてもよいのではないかと。 ●：タブレットを道具として活用できるよう、家庭でも学校でも活用を促進してほしい。 ☞：学校が取組んでいることについて、保護者の理解を更に進めていく方策を一緒に考えていきたい。 ☞：普段から危機意識や危険に対する対処について、子どもたちに気づかせるような指導があってもよいのではないかと。</p>

○：高評価 ●：課題 ☞：提言

<p>① 設定目標</p>	<p>自分も他の人も大切にし、積極的に人とつながり合おうとする児童の育成 (豊かな人間性)</p>												
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>(豊かな人間性)</p> <p>①<u>定期的な学級実態交流、毎学期1回のいじめ・体罰アンケート、児童会・委員会等の充実</u></p> <p>②<u>人権をテーマにした(集団づくり)に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観(道徳含む)</u></p> <p>③児童会を中心とした朝の挨拶運動</p> <p>④係活動や委員会活動等を通じた学校の美的環境づくり</p> <p>⑤花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通じた「いのちの教育」の推進</p> <p>⑥特別支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施</p> <p>⑦<u>SC・SSW等関係機関と連携したケース会議の実施</u></p> <p>⑧低中高学年での学年人権集会、『平和学習週間』</p>												
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>【学校教育自己診断および全国学力・学習状況調査より】</p> <p>○定期的な学級実態交流、毎学期1回のいじめ・体罰アンケート、児童会・委員会等の充実</p> <div data-bbox="478 1108 1268 1579" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>いじめや体罰のない学校づくりに取り組んでいる</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>R3 (%)</th> <th>R4 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>92</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>アンケート結果から、いじめに対する取り組みについては、昨年度と比べて児童はほぼ同様、保護者・教職員ともに肯定的な回答が増加している。いじめの事象が起こった時の迅速な対応はもちろんのこと、本質的ないじめを許さない取り組みを行っていく必要がある。児童一人ひとりが自分自身を大切に思い、友達を大切にするということを体験的に学ばせることを土台に置きながら、教育活動全体でいじめの事象に対する直接的な取り組みと予防的な取り組みを行い、その内容を保護者のみなさんに情報発信していきたい。</p> <div data-bbox="383 1680 774 1960" data-label="Image"> </div>	対象者	R3 (%)	R4 (%)	児童	92	90	保護者	85	82	教職員	95	98
対象者	R3 (%)	R4 (%)											
児童	92	90											
保護者	85	82											
教職員	95	98											

○人権をテーマにした（集団づくり）に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観（道徳含む）



全国学力・学習状況調査結果より

アンケート結果から、人権教育については、昨年度より児童がやや評価が低いですが、保護者のみなさんや教職員は評価が高くなっている。今後児童に対して、学校で行っている取組みが人権教育につながっていることを意識化することの必要性を感じる。各学年で人権に関するテーマを掲げて取組みを進めることができた。また「自分にはよいところがあると思いますか」ということについて、例年本校の児童は肯定的意見が全国平均を下回っている。自分も他人も大切に作る児童を育むため、自分自身の長所も短所も理解し、自分をまるごと肯定的に受け止められる児童になるよう取組みをさらに続けていきたい。



○児童会を中心とした朝の挨拶運動

- ・年間2回程度、募金活動と合わせて行うことができた。

○係活動や委員会活動等を通した学校の美的環境づくり

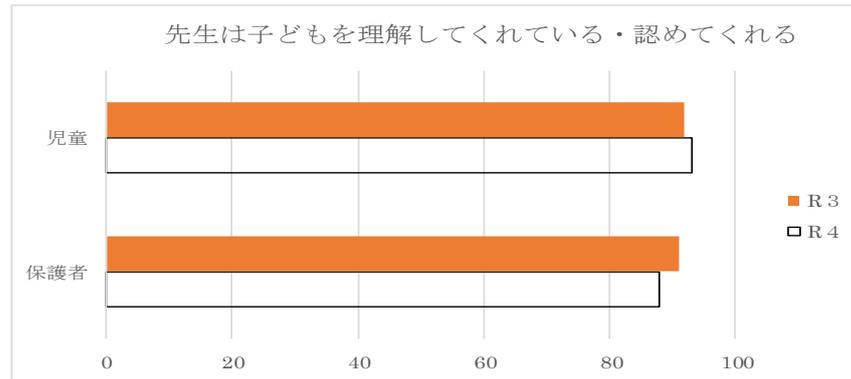
- ・清掃美化委員会の活動として、各学級の清掃当番の活動ぶりを定期的に評価し、放送で伝えている。清掃活動の励みになっていた。



○花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通した「いのちの教育」の推進

- ・学級畑を活用して、さつまいもやヤーコン等を育て収穫することができた。

○支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施



アンケート結果から、「先生の子ども理解について」は、昨年度より児童の評価が高まっている一方で、保護者のみなさんの評価はやや低くなっている。保護者のみなさんにも一定の評価はいただいているが、一人ひとりの児童の個性を理解し、その子に応じた対応をさらに進めていきたい。また、支援教育においても、一人ひとりのニーズに応じた教育をオーダーメイドでつくっていくことが求められている。現在、児童の課題に合わせた支援を行い、励まし、育んでいくことを進めている。今後は「子ども理解」の土台に「支援教育」をしっかり位置付け、その子に応じた対応のさらなる質の向上をめざしたい。

○スクール・ソーシャルワーカー等関係機関と連携したケース会議（面談）の実施

- ・配慮を要する児童や保護者を対象に、定期的に学年団で協力しながらケース会議（面談）を行った。
- ・ケース会議によって、SSW（スクール・ソーシャルワーカー）にも一緒に入っただき、専門的な知見を活かしながら保護者支援、児童支援を行った。
- ・学期に一回、個々のケース会議の中から、学校全体で共有すべき内容を選び、「全体ケース会議」を行った。
- ・SC（スクール・カウンセラー）には、5・6年生向け、PTA 向けの講話（思春期の理解）を行っていただき、「心の専門家」から具体的な対応の仕方を学ぶことができた。



○『平和学習週間』

- ・昨年度より、8月最終週から始まる2学期初めに合わせて、どの学年でも「平和を考える」時間を設けて取組みを進めており、今年度も各学年に応じた平和学習を行った。この時期に合わせて、戦争に関する写真や絵を廊下掲示したり、図書館前に「平和学習」につながる本の掲示をしたりすることにも取組んだ。

- ：「挨拶運動」はとても大切。コミュニケーションの基礎として、これからも取り組んでほしい。
- ：SSW や SC などの専門家に入ってもらったのケース会議は良い取組みだと思う。今後も続けていってもらえればよい。
- ☞：人権教育というものを子どもたちがどう意識しているか。平等性や公平性、インクルーシブ教育等、人権感覚を培ってほしい。
- ☞：今後もいじめに対して、子どもたちがそちらに向いていかない未然防止の取組みを進めてほしい。

○：高評価 ●：課題 ☞：提言

令和4年度(2022年度) 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書(その3)

<p>① 設定目標</p>	<p>保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携 (安心・安全) (開かれた学校づくり)</p>
<p>② 本年度の 取り組み 状況</p>	<p>(安心・安全)</p> <p>① 安全立ち番、地区集会と集団下校訓練</p> <p>② <u>地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードによる定期的な登下校見守り活動</u></p> <p>③ 安全マニュアルの作成と各種避難訓練、防犯教室(5～6年)、不審者対応訓練(教職員)の実施・災害発生時対応用「緊急カード」作成、保護者引取り訓練の実施(幼稚園と連携して実施)</p> <p>④ 救急救命講習</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症予防 ・メリハリのあるマスク着用、手洗い、室内の換気、3密を防ぐ対策徹底</p> <p>(開かれた学校づくり)</p> <p>① <u>学校情報の地域への発信 ・授業参観3回(ハイブリット形式)、学校公開、学級懇談会4回、個人懇談会2回 ・学校だよりの地域、議会、サポーター等関係者への回覧</u> <u>・学校ホームページ</u></p> <p>② <u>サポートボランティアや学生サポーターの授業支援活動</u></p> <p>③ 学校教育自己診断の実施 報告資料(学校改善を含む)の作成、配布</p> <p>④ 学校運営協議会(月1回) ・学校協議会(年3回) ・学校保健委員会(年2回)の開催</p> <p>⑤ 地教協や青育協やPTAと連携した「ふれあいのつどい」「秋の日のつどい」への参加</p> <p>⑥ 学校支援地域本部の設置、地域学校協働活動推進員を中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」の活動</p> <p>⑦ 行事、奉仕活動などPTAと連携した学校の活性化</p> <p>⑧ 保・幼・小・中との連携 ・保幼小交流会、中学校体験入学</p>

【学校教育自己診断および全国学力・学習状況調査より】

(安心・安全)

○正門ならびに裏門の安全立ち番、地区集会と集団下校訓練

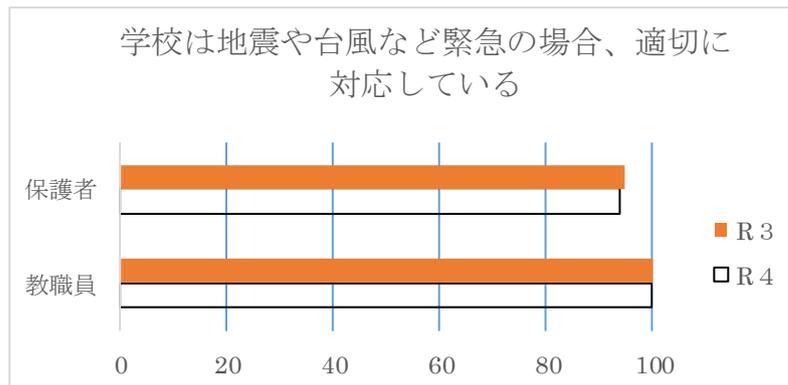
- ・正門ならびに裏門の立ち番については、安全担当教員と管理職で行った。
- ・地区集会と集団下校訓練については、年間予定通り、学期ごとに行った。
- ・登校班の存続についてのご要望については、PTA アンケート調査を行い「継続してほしい」というご意見が全体の76.5%であった。また、令和8年度の義務教育学校開校まで「登校班を継続してほしい」というご意見もあった。

○地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードリーダーによる定期的な登下校見守り活動

- ・地域住民、民生委員、スクールガードリーダー等の皆様の協力を得て、児童の登下校の見守り活動を年間通して行うことができた。
- ・今年度は、3年ぶりに見守り隊の方々へ年度初めと年度終わりに学校へお越しいただき、子どもたちからご挨拶と感謝の気持ちを伝えることができた。



○保護者引取り訓練の実施（ひかり幼稚園と連携して実施）



アンケート結果から、緊急時の対応について、連絡や訓練等について概ね評価が高かった。今年度は、熱中症対策を考え、例年（7月下旬）よりも時期を早めて（6月8日）、保護者引き渡し訓練を「ひかり幼稚園」と合同で行うことができた。緊急時に備えたより地域の実態にそった取組みとなった。今後は、地域防災の取組みと連携をして、地域全体でさらなる防災意識を高めていきたい。

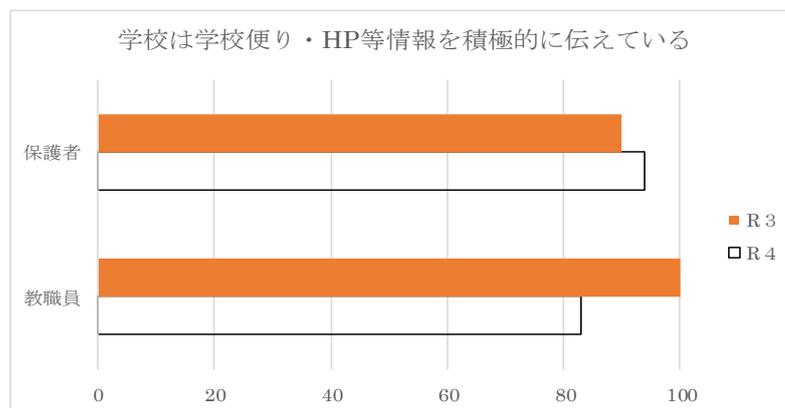
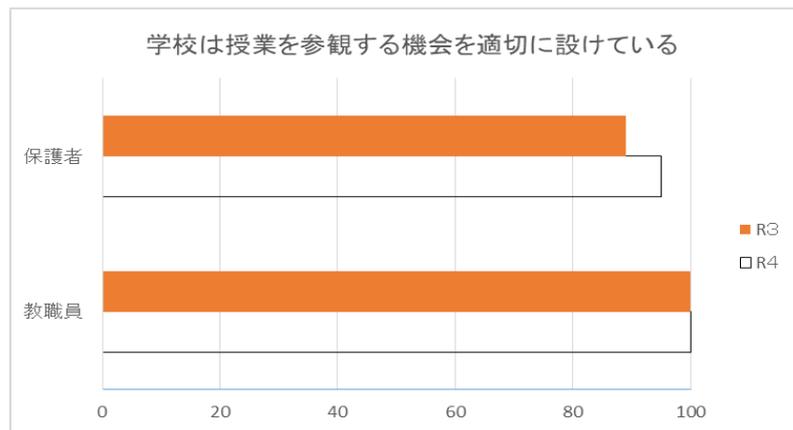
○救急救命講習

- ・町教委主催で3年ぶりに講習会が行われ、本校から3名程度参加。水泳指導も今年度3年ぶりに行われるということもあり、講習会に参加した教職員から校内で伝達講習を行った。

(開かれた学校づくり)

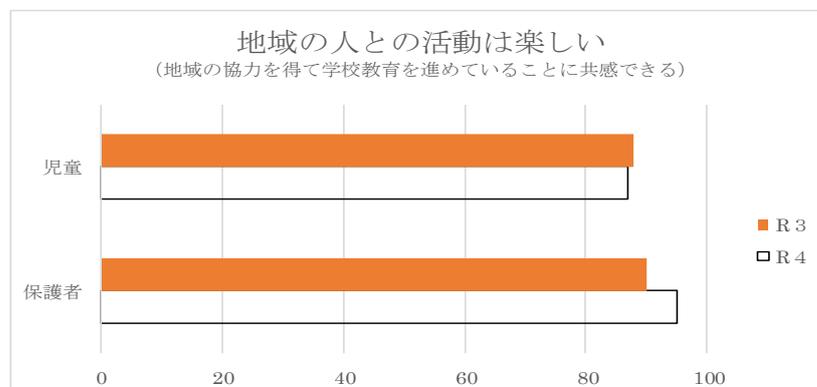
○学校情報の地域への発信

③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容

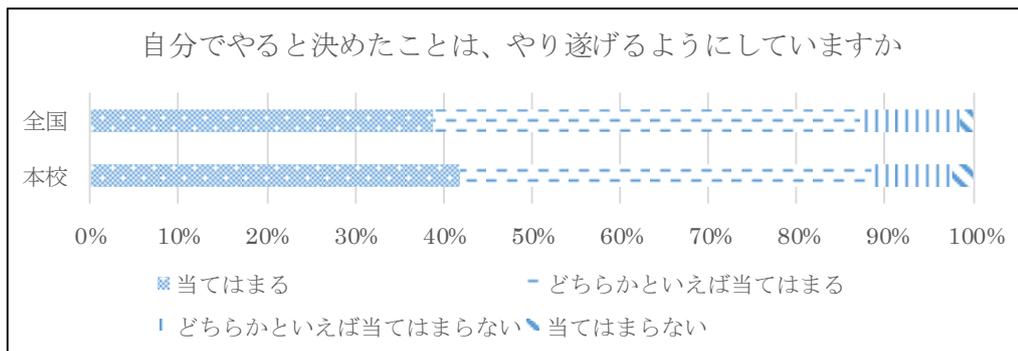


アンケート結果から、「授業参観の機会」や「学校だより」、「ホームページ」等の情報については、昨年度以上に保護者のみなさんから高い評価をいただいた。授業参観については、「ZOOM」を活用したハイブリット参観授業（来校とリモートを併用した参観授業）年間3回行った。この方法等が一定保護者のみなさんから評価いただいたと考えている。また、学校だよりやホームページについても学校の取組みをできるだけ保護者の方々にお伝えすべく積極的に発信していくことを心がけた。さらに今年度から「コドモン」を導入して、PTA活動の簡素化に加えて、さらに保護者の方々に情報が伝わりやすく、学校と保護者が連携しやすい連絡体制づくりを行うことができた。

○サポートボランティアや学生サポーターの授業支援活動



アンケート結果から、地域の協力を得て学校教育活動を進めていくことに児童・保護者ともに評価が高い。保護者のみなさんの評価にいたっては、昨年以上に高い評価をいただいた。今後は「学校運営協議会」という組織とさらなる連携・協力を進めながら、地域のみなさんの力を学校教育活動に積極的に関わっていただけるシステムを構築していきたいと考える。



全国学力・学習状況調査結果より

- 学校教育自己診断の実施 報告資料（学校改善を含む）の作成、配付。
  - ・管理職で報告資料をまとめ、先生方と共有した上で、年度末の3月に保護者への配付、HPへのアップを行った。
- 学校協議会・学校保健委員会の開催（年3回の学校協議会と年2回の学校保健委員会）
  - ・年度初めに第1回の学校協議会・学校保健委員会を開催。2回目も全国学力・学習状況調査結果等についてご意見をいただいた。3回目は学校教育自己診断ならびに学校評価についてご意見をいただいた。（今年度はどの回も対面で行うことができた。）
- 地教協や青育協やPTAと連携した、ふれあいのつどい、秋の日のつどいへの参加
  - ・コロナ禍のため「ふれあいのつどい」（地域教育協議会主催）中止。
  - ・「秋の日のつどい」（青育協主催）は、3年ぶりに本校運動場を利用して行うことができた。ゲームコーナーの種類を限定して行い、約120名程度の子どもたちが参加して、ストラックアウトやスリッパ飛ばし等ゲームを楽しんだ。
  - ・地域協✕青育協✕PTAのコラボ企画として、本校の「作品展」に地域の方の作品展示を行った。「ふれあいのつどい」（地域教育協議会主催）中止だったため、各学校等で地域の方々と「ふれあえる」活動を考えるということになった。そこで、今年度児童の図工の作品を体育館に展示する「作品展」に地域の方々がさまざまなものづくりをされている方々に作品を展示いただき、一緒に展示することを企画。開催期間中は、保護者のみならず地域の方々、作品を出品いただいた方々にもご来館いただき、地域の方々と「ふれあえる」活動となった。



- 学校支援地域本部の設置、地域学校協働活動推進員を中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」
  - ・「わくわく教室（町放課後事業）」は、原則「月・木」曜日に開催。4年生から6年生を対象に運動場での外遊びのみ（教室での学習はなし）で行った。コロナ禍で断続的な開催となった。



- 保・幼・小・中との連携
  - ・保・幼との交流会を学期に1回計画（年間3回）。事前に交流内容を検討し、実施することができた。小・中連携では小学6年生が吉川中学校で生徒会の話の聞いたり、実際に中学校の先生方と授業をしたりする「体験入学」に参加した。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>○：保幼小中一貫教育や小中一貫教育を進めておられる。課題は尽きないと思うが、今後も継続して取り組んでほしい。</p> <p>○：作品展の中で、地域の方々の作品を展示するのは地域交流になってとてもよい。</p> <p>●：学校運営協議会の中で、各学校園所で行われている「学校協議会」の内容を交流していく必要があるのではないか。</p> <p>●子どもたちに地域の中で役割を与えて、存在意義や達成感を感じられるように取り組んでいただきたい。</p> <p>☞：中高一貫教育も町として施策として考え、保幼小中一貫教育の取組みとつなげられてもいいのではないか。</p> <p>☞：地域の方々に学校に興味をもって関わっていただくにはどうすればよいか。地域の活動と学校の活動をつなげていくことも一つではないか。(花散歩等)</p>
---	--

○：高評価 ●：課題 ☞：提言